

## 令和4年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和4年9月27日（火）

地 区 錦町・本町地区

会 場 文化交流センター

### <意見交換>

◆市民 幸町の■■■■です。よろしくお願いいたします。苦小牧市のホームページの関係でございます。

市長は、先日の6月19日の市長選挙で互選、選出されました。現実には、7月9日から正式な市長としてのスタートでございます。いわゆる市のホームページを見ても、私、指摘させていただきましたけど、8月3日まで市長のホームページ、マニフェストの掲載がございませんでした。本来だと、7月9日から5期目の市長です。指摘するまで25日間、何をやってたのかなという気がいたします。担当者を責めるんじゃなくて、1,700名近い市の職員、誰もホームページを見てないんだと。担当セクションに何の指摘も行っていないのかなと。今し方、市長がおっしゃった横断的な組織の動き、そういうのがどうなってるのか。とても最後のラストラン、5期目の市長の動きに対して、とっても心配でございます。その点、いかがだったのかなというのが1点と。

もう一つ同じくホームページの中で、いわゆるホームページを開きますと、教育、あるいは文化、そういうのが出てきます。そして当然、各課のホームページというのも出ております。各課のホームページ見ていきますと、中には、いわゆる市政情報というのが出てます。セクションによって、市政情報が出たり出なかったり。いわゆる市政情報の位置づけというのをどう考えているのか。いわゆる見やすい、分かりやすい、利便性があるホームページの作成をお願いしたいと。この2点でございます。

○司会 ありがとうございます。ただいまホームページの構成に関するご意見、ご質問と、ホームページの分かりやすいつくり方等についてご質問いただきましたので、市のほうから回答お願いいたします。

◎政策推進室長 協働・男女平等参画室でこの企画を担当しておりながら、政策推進室、ホームページも担当しております山田と申します。大変申し訳ありません。ホームページの更新について、気がつかず、そこまで直すというところに思いが至らなかったというところは大変申し訳ないと思っております。そのようなことがないように、今後気をつけてまいりたいと思います。そのような、うちに限らず、市役所全部署について、そのような更新漏れていないか、誤った情報はないかということは、いま一度周知してまいりたいと思いますので、ご理解のほどをよろしくお願いいたします。

◎秘書広報課長 続きまして、私、秘書広報課、都築と申します。よろしくお願いいたします。ホームページの市政情報の位置づけという点について、私のほうから説明をさせていただきます。

市のホームページでございますが、各ページのトップページでございます、暮らし・手続、健

康・福祉、次に、教育・文化・スポーツ、続いて、観光・産業、その後、自然・環境、最後に市政情報、この6つのカテゴリーの中にページをつくるということに、そういう仕組みになってございます。これを各課、ページつくる際には、今申しあげました6つのカテゴリーの中にページを作るわけでございますけれども、このカテゴリーの名称が各課のページの中、見出しのような形で表示される仕組みとなっております。この市政情報の中に、実際に本当に市政と関係あるのかという部もあろうかと思ってます。なかなか今現在、市のホームページのページ数というのは、およそ1万ページございます。添付しておりますPDFファイル等を含めると3万ページという状況になってまして、発信する情報が多ければ多いほど、これらのカテゴリーになかなか入れにくい状況になってございます。結果として、なかなか各課のページとして、市政情報があったりなかったりですか、市政情報の中に、これ本当に市政情報なのかというようなページがあるかと思えます。そういったこと含めまして、一昨年、令和2年の12月にホームページのリニューアルをさせていただきました。この際は、このカテゴリーから検索することなく、検索窓から特定の単語を検索するというようにしております。このほか、特に、注目が高い災害のページですとか、そういったものを市のホームページのトップに大きく目立つような形でもリンクをさせていただいてるという状況でございます。あと、先ほど古い情報があったということに関してなんですけども、私のほうから8月に、8月ですから、全庁的に庁内のインフォメーションを通じて、ホームページの内容を見やすく、誤りはないかというのを点検するように指示しております。これにつきましては、1回で終わりということじゃなく、定期的にこういったことを庁内に発信して、新しい正確なホームページにするようにしたいと考えておりますので、ご理解のほうをお願いしたいと思います。以上でございます。

○司会 よろしいでしょうか。それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

◆市民 なければ、もう一つあるんですが、よろしゅうございますか。

○司会 もし、ちょっとほかにいらっしゃらなければ。

◆市民 ほかの方、いらっしゃらなければ、お願いします。

○司会 ほかにどなたかご質問ある方、いらっしゃいませんか。今マイクをお持ちいたします。

◆市民 一区町内会の■■■■といます。先ほど、ハザードマップのいろんな話を、僕はこれで危機管理室からも聞いて、2回目なんですけど、その中で、ちょっとそれを聞いた何か人、人とか、一般の住民の人から、ここに書いてあるように浸水、例えばどこそこ2.5とかありますよね。ただ、町の中には、ここの地域は海拔6メートルだとか、海拔7メートルと表示されていますから、これとの関係で、こんな海拔6メートルだったら2.5だ1メートル、こっちのほうへ来ないよねと、こう単純な質問が来てるんですよ。いろいろ話はしてるんですけど、やっぱりそういう町で表示してあるそういうものと、住民というのは結構見てるんですね。苦小牧駅は6メートルだとか、どこそこは7メートルとか。そういう関連で、これでいけば、信金の前が1.35メートルと。あそこも6メートル、海拔6メートルぐらいになってるんですよ。そうしたら、中には、ある人が、こんなここに書いてるけども、来ないよ、ここまで水なんかって、そういう話なんで。その辺をも

っと分かりやすく、我々もこれからそういう話をしていくときに、こういう関係をどう扱ったらいいのか、ちょっとお聞かせいただきたいなと思います。

○司会 ありがとうございます。ただいま津波の表示に関して、ご質問いただきましたので、市のほうから回答をお願いします。

◎危機管理室長 ご質問ありがとうございます。危機管理室の前田でございます。今町並みに関しての高さの表示をどうするかと。先ほどのテーマプレゼンテーションの中では、津波の高さという切り口からご説明をさしあげました。あるいは、市内に書いてある、例えばこの建物もそうですけれども、建物の看板には、ここの海拔は何メートルですという。どちらの方向の数字がいるかというところ、なかなか分かりづらいところあるのかなということ、今のお話を聞きながら、私にとっては改めて思ったところなんです、津波の高さについては想定によってはいろいろ変動するということがありますので、やはり、まずは、皆様がお住まいの地域の地盤高、標高、これが何メートルあるのかということ、これをまずは知っていただくのが一番大事かなというふうに、市としては思っております。その上で、津波が来たときに、気象庁の方も、今回は、例えば津波注意報ですよという、1メートルの高さなんです。津波警報という3メートル以下の高さなんです。そういったその言葉の持つ意味も今度ご理解いただいて、じゃあご自身の家の、例えば標高は何メートルだから、今回はどうかとか、そういうことを分かっていたらいいような、そんな仕組みがいいのかなと思っております。その上で、そういったことの仕組みについても、これは一度お話しして終わりということではありませんので、防災講座ですとか、様々な機会こういった本日のような、テーマプレゼンテーションのような、こういったお話を何度もさしあげながら、皆様の中で分かっていたらいいような仕組みをつくっていききたいと、そのように思っておりますということです。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。ほかにどなたかいらっしゃらなければ、2回目のご質問を受けたいと思いますが、ほかの方、よろしいでしょうか。それでは、2回目の質問を受けたいと思いますので、今マイクをお持ちいたします。

◆市民 すみません、再度出てきました。幸町の■■■■です。先日、市のほうから水道事業から水道ご使用様へのお知らせ、水道料金を減免しますと、こういうパンフレットが流れてまいりました。それで、匿名希望という方から3名ほど問合せがございまして、具体的にどういうことなのかと。それと、水道料金を減免するってどういうことなのかと。じゃあ2か月分、今検針票に書いてます。次のときに減免しますと。そういう問合せなんです。それと、頭から、水道事業から水道ご使用の皆様へのお知らせって何だと。逆に、苫小牧市上下水道部とか、そちらから水道事業の皆様へのお知らせかということじゃないのかという、そういうご指摘も来てます。いわゆる減免という言葉はちょっと法律用語で、税金、租税公課ですね。あるいは悪いことをして刑務所入った人間の刑罰を減免する、免ずる。本来だと減額しますよとか、免除しますと。水道事業の市の条例からいくと免除になってるんですね。やっぱり分かりやすい言葉、表現。そういうことで、じゃあ私は例えば口座振替やってます、自動引き落としです。検針票、5,000円来ました。実際、ど

うなるのかしらという問いの2ページに書いてるところに、5,000円の請求、検針料金ですけども、次のお支払いのときには基本料金削って、はい、4,000何がしのお支払いをしていただきますとか、そういう処理をしますと分かりやすい文書の作成をお願いしたいという、そういうのがいくつか要請がありましたので。担当セクションとしては少し行政の専門用語じゃなくて、市民に分かりやすい言葉遣い、文言という文書を配布していただければという気がいたします。以上です。

○司会 ただいま水道料金の減免のパンフレットに関して、分かりやすい表現でということのお話しをいただいたんですけども、市のほうから回答できますでしょうか。

◎水道窓口課長 上下水道部水道窓口課の江原と申します。ただいま水道料金の減免の事業のチラシのほうをさせていただいておりますけれども、そちらの減免という用語ですとか、そちらが分かりにくいというお話がございました。今後、今回のチラシのほうは検針票の配布のときに減額される、水道料金が一般的なご家庭でどれくらいになるかということ、皆さんで分かっていたらいいという形でチラシと一緒に同封させていただいて配布させていただいたんですけども、その言葉遣いですね。そういった点で市民の皆様で分かりにくい点があるということでしたので、今後、このようなチラシ等の配布を作成するときには、市民の皆様により分かりやすいような言葉遣いを考えて、今後取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解のほど、よろしく願いいたします。ご指摘のほうありがとうございました。

○司会 よろしいでしょうか。それでは、ほかにもなにかいらっしゃいませんか。今マイクをお持ちいたします。

◆市民 一区町内会の■■■と申します。今年、花の祭典ありましたよね。そのときに、雑草の多い苫小牧市だなというふうに思って、この雑草はこのお花の祭典に向けて刈り込まれるのかなと思いましたが、それも何かなかったような気がしています。それと、分離帯の雑草とかもすごいんで、これらについては、どこの部署がどのような計画でしてらっしゃるのかを伺いたいと思います。

○司会 ありがとうございます。ただいまの中央分離帯の雑草の件についてのご意見、ご質問だと思いますので、市のほうから回答お願いいたします。

◎緑地公園課長 緑地公園課の成田と申します。市内の公園ですとかの街路の植樹帯の草刈りだとか、街路樹の剪定等々を所管している課の者でございます。今年、ご指摘のとおり、全国都市緑化フェアというところで、みどりの祭典があったところでもございまして、それに合わせて、いろいろ町中、駅前等々、花で飾り立てたりですとか、そういった会場になってるエリアについては、草刈り等も行ったところではございますが、市内全域、こちらのほうの町内会の区域も、完璧な草刈りの状態になってなかったとは思いますが、市内の草刈りの状況でございますと、年2回から3回の草刈りを行っている状況でもございまして、それもタイミングによっては、伸びて汚くなってるなという状況もあるかと思うんですが、やはり草刈りの回数も限られた回数の中でやっているものですから、今後に向けまして、なるべく、草の伸び方も毎年、雨だとか気温だとかによって伸び方も違いますので、できる限り支障のないような形、タイミングで、きれいな景観

をつくるように努力してまいりたいと考えてございますので、ご理解のほど、よろしくお願ひいたします。

○司会 よろしいでしょうか。それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。まだお時間のほうございますが。

◆市民 もう一ついいですか。

○司会 今マイクをお持ちいたします。

◆市民 一区町内会の■■■■といます。先ほどのハザードマップの説明の中で、避難するときに水平と垂直と。東北地震があつて津波があつたときに、5年後に町連で視察に行ったんですよ。そのときに、やっぱり車で逃げていって、坂で渋滞しちゃつて、そこまで津波が来て、そして車から下りて早く逃げた人が助かつて、そして、下にいた、まだ下りれない人は津波にさらわれたという話を語り部の人からそう聞かされて、だから、そういうふうにな車が渋滞してて、待ってないで早く逃げたほうがいいよとか、そういう経験をしましたという話聞いていたんですね。今回、水平、それも大事ですけども、垂直、大事だということ。今一区町内会はどっちかという高い建物がいっぱいあつて、一戸建ちが少ないんですよ。お年寄りなんかは横に逃げるより、水平に逃げるよりは、やっぱりホテルだとかその近場にある、郵便局だったか、結構高いものが、マンションもいっぱいありますから、そういうところと何とか、逃げてもいい、来てもいいよというような形での、そのほうが近くていいなと、そして逃げれるなと。ただ、問題はそこの、夜だとか何かあつたときに困りますから。そういうときの対応をどうすればいいのかなということ、ちょっと今考えているんですよ、どういう取組したらいいかということですね。

それともう一つは、逃げて、避難しても、今ここで見たら3時間も4時間も、二波、三波、四波と来たら、それぐらい長くとどまらなければいけないとしたら、そういうときの時間的な問題だとかなんかも絡めていけば、結構難しい面もあるのかなと思ひながら考えていたんです。だから、この前の説明会のときも、一区町内会の人、うちは垂直避難のほうがどっちかといういい方向に進めたいなという話をしたんですけども、だんだん、そういうのを聞いてると、相手とのことだとか何かあつて、時間的なものもありますから、今後どういふような形で、もし知恵があれば、教えていただきたいなと思ひているので、今日でなくてもいいんですが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○司会 ありがとうございます。ただいま、垂直避難に関して避難場所の選定についてのご質問いただきましたので、回答お願ひいたします。

◎危機管理室長 危機管理室、前田です。再度のご質問ありがとうございます。今■■■■おっしゃつたことが、まさしく今我々が直面している検討の課題なんですけれども、今苫小牧市は、先ほどご説明したように、もともとは水平方向の避難で何とかありますけど、水平避難をすると、基本的に津波が来ない地域になりますので、陸の孤島にならなくて済むということで、それを中心をやつていたんですが、今回の新しい想定では、それだけでは駄目だということで、垂直避難も考える。

今■■■■おっしゃつたとおり、苫小牧市には、そのための高い建物ですね、市営住宅だとかさう

いうものは速やかに指定を受けたと思うんですが、それ以外の民間の所有している建物についても、これは所有者の皆様方のご理解をいただきながら、何とか一つでも多く建物を指定できるように、今そういう作業を進めさせていただいておりますので、そこはすぐにできないものもあるかもしれません。でも、一個一個、そういう交渉をしていきながら、少しでも市内の中で多くの建物が垂直避難に使えるように進めていきたいと思っております。その上で、今度は各地域の中で、垂直避難がいいのか水平避難がいいのか、いろんなケース・バイ・ケースの場面があるかと思っておりますので、そこについては、今度ハザードマップが完成した後、実際、これ我々の地域の皆様に入って、一緒に訓練をしてみるですとか、実演をしてみるですとかということをしていきながら、より実態に合ったそういう避難体制を進めていきたいと思っております。そこも若干時間がかかる話になるかもしれませんが、そういった取組を一步一步進めていきたいというふうに考えております。以上です。

○司会 よろしいでしょうか。それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。ほかにいらっしゃらないようでしたら、これでまちかどミーティング終了としたいと思います。よろしいでしょうか。それでは、これで意見交換を終了させていただきます。最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たり、岩倉市長よりご挨拶させていただきます。

◎市長 テーマプレゼンテーションを聞いていただき、あるいはご質問、ご指摘をいただきまして、誠にありがとうございました。二、三、気がついたことなんですが、まず、上下水道部のチラシ、パンフレットの文言なんですが、これ私、16年前から、市役所の常識は市民の非常識、市民の常識は市役所の非常識、これをやっぱり是正をしていかなければならない。市役所の常識と市民の常識がイコールでなければならぬという問題提起をしておりました。言葉の使い方、あるいはその意味、できるだけ分かりやすく伝えるには、どういう言葉を使うべきかということについては、ご指摘を踏まえて、今後しっかりと企画部で練って、対応したいなというふうに考えます。

もう一つ、■■■■さんの雑草、市道だけで、今1,000キロ以上あるんですね、苦小牧って。国道は国、あるいは道道は道がそうしたことを担当している。これは、そのほうが効率的にきれいにできるということではありますが、なかなか、これ限られた予算の中で、担当は計画的に雑草刈りを行っているんですね。だから、一番簡単なのは予算を増やすことなんです。ところが、なかなかそうはいかない財政事情がありますので、その辺もご理解をいただかなければいけないんですが、そういうところでたくさん予算が使えるように、やっぱり財政基盤をもっともっとよくしていかなければならないなということを感じながら聞いていました。

もう一つは、冒頭にありました、私にとっての公約は市民との約束であります。今回50施策を掲げての市長選でありました。当選した瞬間からその公約は施策化に職員は取り組むこととなります。その作業は、ほぼ終わっている公約項目と、まだ検討している公約項目がありますが、そのこととは別に、市長としての始まった時点からやっぱり公約で掲げた約束は、しっかりとホームページ等々で表現すべきだというのは、そのとおりでありまして、多分、今までそういう指摘がなかったから多少ルーズになってたかなと。指摘があった以上は、やはり市民の皆さんの中

で、そこをやっぱりチェックする、どういう公約だったんだろうということをチェックする方もいるわけですから、気をつけなきゃいかんなと思うと同時に、これだけ、10年ぐらい前、東京大学のゼミナールが全国の自治体のホームページをチェックしたことがあったんです。苫小牧市のホームページの情報量は、非常に評価されたんです、情報量。しかし、その情報にアクセスする使い勝手については、まだいろいろ問題があることも事実ですが、これを解決するためにはすっげえ難しいんですね。情報量を取るか、使い勝手を取るか、分かりやすさを最優先に取るかによって、情報量がアップダウンするもので、今のところ、やはり情報量というものは、一定の情報量は必要だという考え方でホームページに取り組んでいる。その中で、よりアクセスしやすいリニューアルですね。僕も感じる時あるんですよ。僕がやっても行き着かないところあるんですよ。行って行って、2つくらい行ったところは、もう本当に苫小牧市は何か30年遅れてるというところもあるんです。ただ、トップページとか、そういうところは非常に進んでいるんですね。進んでるページと、非常に古いところが今一緒になっちゃってるので、そこは今後修正できるところは修正しながら、より使い勝手のいいホームページ、心がけたいと思います。それやこれや、今日は最初から最後まで1回も発言してないのが木村副市長なんで、最後、木村副市長からお礼のご挨拶。

◎副市長 皆さん、おばんでございます。初めて口を開かせていただきました。私もこのまちかどミーティング、何か所か出席をしておりますけども、やはり、その地域地域、生活に密着した課題、要望というのが、これは多いわけでありまして、市としてもいろんな形で努力はしております。ただやっぱり、市民の皆さんにとってみれば、まだまだ行き着いてないという部分はあるかと思えます。私どもとしても、すぐできるところはやっていきたいと思っておりますし、できないところはしっかり説明をしながら、ご要望にお応えできるように取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後とも何なりとお申し付けいただければというふうに思っております。ということで、本日は誠にありがとうございました。

○司会 以上をもちまして、まちかどミーティングを閉会いたします。ご帰宅後には、手洗い、うがい等を徹底していただきますようお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。